第 193 回　企業経営動向調査

調　査　要　領

（1）調査対象企業社数　467 社（回答企業社数　406 社、回答率　86.9%）

（2）調査時点　令和５年５月下旬～６月中旬

（3）調査対象期間　実　績：令和５年 4-6 月期

見通し：令和５年 7-9 月期

（注）本文中にある「D. I. 値」は「Diffusion　Index」の略で、企業の業況判断等を指標化したものである。算式は有効回答企業社数の合計を 100%として「良い」「増加」「上昇」などとする企業の割合（%）から、「悪い」「減少」「下落」などとする企業の割合（%）を差し引いた数値である。

概　　況

1．令和５年 4-6 月期の「全産業」の業況判断 D.I.（「良い」－「悪い」）は、+9 と前回調査+5 から４ポイント上昇した。令和５年 7-9 月期の見通しは、17 となっている。

2．業種別では、「製造業」の業況判断 D.I.は、±0 と前回調査▲9 から 9 ポイント上昇した。令和５年 7-9 月期の見通しは、+15 となっている。

「非製造業」の業況判断 D.I.は、+19 と前回調査+16 から 3 ポイント上昇した。令和５年 7-9 月期の見通しは、+18 となっている。

（表１、図１）

3．各種判断項目では、「売上・受注・生産」D.I.は、+2 と前回調査+8 から「増加した」超幅が 6 ポイント縮小した。令和５年 7-9 月期の見通しは、+9 と「増加する」超で推移する見通しとなっている。

「販売価格」D.I.は、+33 と前回調査+35 から「上昇した」超幅が 2 ポイント縮小し、「仕入価格」D.I.は、+60 と前回調査+67 から「上昇した」超幅が 7 ポイント縮小した。その結果、「採算」D.Ｉ.は、▲22 と前回調査▲26 から 4 ポイント上昇した。

1　業況判断

（1）群馬地区

・調査対象企業社数　258 社（回答企業社数　222 社、回答率　86.0%）

①　令和５年 4-6 月期の「全産業」業況判断 D.I.（「良い」－「悪い」）は、＋9 と前回調査▲4 から 13 ポイント上昇した。令和５年 7-9 月期の見通しは、+19 となっている。

②　業種別では、「製造業」の業況判断 D.I.は、＋3 と前回調査▲20 から 23 ポイント上昇した。「非製造業」の業況判断 D.I.は、+15 と前回調査+13 から 2 ポイント上昇した。製造業では、供給制約の影響が緩和してきており、業況改善の傾向が窺える。非製造業では、新型コロナウイルス感染症の 5 類移行により社会活動の制限が緩和された影響もあり、すべての業種がプラス幅を拡大した。

具体的に見ると、「製造業」では、食料品＋27、一般機械＋7、電気機械+14、その他製造＋18 がプラス、金属製品▲19、輸送用機械▲9 がマイナスとなった。「非製造業」は、建設+13、卸売+25、小売+11、サービス+18 がプラスとなった。令和５年 7-9 月期の業況判断見通し D.I.は、「製造業」は+22、「非製造業」は+17 となっている。

（表 2、図 2）

（2）埼玉地区

・調査対象企業社数　182 社（回答企業社数　167 社、回答率　91.8%）

①　令和５年 4-6 月期の「全産業」の業況判断 D.I.（「良い」－「悪い」）は、+8 と前回調査+12 から 4 ポイント下落した。令和５年 7-9 月期の見通しは、+13 となっている。

②　業種別では、「製造業」の業況判断 D.I.は、▲7 と前回調査+3 から 10 ポイント下落した。「非製造業」の業況判断 D.I.は、+21 と前回調査と同様の結果となった。製造業では、物価上昇の価格への転嫁が難しく採算が悪い状況が続いていることで、業況が悪いと判断する企業が多くなった。非製造業では、全般的にプラスの基調を維持した。

具体的に見ると、「製造業」では、その他製造+10 がプラスとなり、金属製品▲14、一般機械が▲40、輸送用機械▲22 がマイナスとなった。「非製造業」は、建設+21、卸売+24、小売+21、サービス+17 がプラスとなった。

令和５年 7-9 月期の業況判断見通し D.I.は、「製造業」は+8、「非製造業」は+20 となっている。

（表 3、図 3）

２　売上・受注・生産

令和５年 4-6 月期の「全産業」の売上･受注･生産 D.I.（「増加した」－「減少した」）は、+2 と前回調査＋8 から「増加した」超幅が 6 ポイント縮小した。業種別では「製造業」は＋1 と前回調査▲1 から「増加した」超に転じ、「非製造業」は+4 と前回調査+17 から「増加した」超幅が 13 ポイント縮小した。

令和５年 7-9 月期の「全産業」の売上・受注・生産見通し D.I.は、+9 と「増加する」超で推移する見通しとなっている。（図 4）

３　資金繰り

令和５年 4-6 月期の「全産業」の資金繰り D.I.（「良化した」－「悪化した」）は▲6 と前回調査▲10 から「悪化した」超幅が 4 ポイント縮小した。業種別では、「製造業」は▲10 と前回調査▲19 から「悪化した」超幅が 9 ポイント縮小し、「非製造業」は▲2 と前回調査▲3 から「悪化した」超幅が 1 ポイント縮小した。

令和５年 7-9 月期の「全産業」の資金繰り見通し D.I.は、▲5 と「悪化する」超で推移する見通しとなっている。（図 5）

４　販売価格

令和５年 4-6 月期の「全産業」の販売価格 D.I.（「上昇した」－「低下した」）は、+33 と前回調査+35 から「上昇した」超幅が 2 ポイント縮小した。業種別では、「製造業」は+35 と前回調査+33 から「上昇した」超幅が 2 ポイント拡大し、「非製造業」は+31 と前回調査+37 から「上昇した」超幅が 6 ポイント縮小した。

令和５年 7-9 月期の「全産業」の販売価格見通し D.I.は、+24 と「上昇する」超で推移する見通しとなっている。（図 6）

５　仕入価格

令和５年 4-6 月期の「全産業」の仕入価格 D.I.（「上昇した」－「下落した」）は、+60 と前回調査+67 から「上昇した」超幅が 7 ポイント縮小した。業種別では、「製造業」は+59 と前回調査+70 から「上昇した」超幅が 11 ポイント縮小し、「非製造業」は+59 と前回調査+65 から「上昇した」超幅が 6 ポイント縮小した。

令和５年 7-9 月期の「全産業」の仕入価格見通し D.I.は+48 と「上昇する」超で推移する見通しとなっている。（図 7）

６　採　　算

令和５年 4-6 月期の「全産業」の採算 D.I.（「良化した」－「悪化した」）は、▲22 と前回調査▲26 から「悪化した」超幅が 4 ポイント縮小した。業種別では、「製造業」は▲27 と前回調査▲33 から「悪化した」超幅が 6 ポイント縮小し、「非製造業」は▲16 と前回調査▲17 から「悪化した」超幅が 1 ポイント縮小した。

令和５年 7-9 月期の「全産業」の採算見通し D.I.は、▲14 と「悪化する」超で推移する見通しとなっている。（図 8）

7　在　　庫・在庫水準

令和５年 4-6 月期の「全産業」の在庫 D.I.（「増加した」－「減少した」）は、+4 と前回調査+3 から「増加した」超幅が 1 ポイント拡大した。

令和５年 7-9 月期の「全産業」の在庫見通し D.I.は、±0 と保ち合いとなる見通しとなっている。（図 9）

令和５年 4-6 月期の「全産業」の在庫水準 D.I.（「過剰」－「不足」）は、+7 と前回調査+8 から 1 ポイント下落した。

令和５年 7-9 月期の「全産業」の在庫水準見通し D.I.は、+2 となっている。（図 12）

8　雇用人員

令和５年 4-6 月期の「全産業」の雇用人員 D.I.（「過剰」－「不足」）は、▲28 と前回調査▲29 から 1 ポイント上昇した。業種別では、「製造業」は▲22 と前回調査▲23 から 1 ポイント上昇し、「非製造業」は▲33 と前回調査▲35 から 2 ポイント上昇した。

令和５年 7-9 月期の「全産業」の雇用人員見通し D.I.は、▲28 となっている。（図 10）

9　生産・営業用設備

令和５年 4-6 月期の「全産業」の生産･営業用設備 D.I.（「過剰」－「不足」）は、▲8 と前回調査▲7 から 1 ポイント下落した。業種別では、「製造業」は▲12 と前回調査▲7 から 5 ポイント下落し、「非製造業」は▲6 と前回調査と同様の結果となった。

令和５年 7-9 月期の「全産業」の生産･営業用設備見通し D.I.は、▲8 となっている。（図 11）

10　当面の経営上の課題

「製造業」における当面の経営上の課題について、対象企業の 73.9%が回答した「原材料高」がトップとなった。２位は「売上･受注不振」で 37.2%となり、３位は「収益不振」で 28.0%となった。

「非製造業」では、対象企業の 57.3%が回答した「原材料高」がトップとなった。２位は「求人難」で 35.7%となり、３位は「人材育成」で 35.2%となった。

物価高騰が続いており、製造業・非製造業ともに「原材料高」を課題とする企業が最も多くなった。一方、人手不足を背景に「求人難」を課題とする企業も多く、「人材育成」や「人件費高騰」を課題とする企業の割合が増加している。（図 13,14）

表１　業況判断

全 体	4-6月 実績	7-9月 実績	10-12月 実績	5年 1-3月 実績	4-6月 実績	7-9月 見通し
食料品	18	▲ 11	7	▲ 14	18	40
金属製品	▲ 8	▲ 15	▲ 5	▲ 29	▲ 14	12
一般機械	▲ 16	0	4	▲ 7	▲ 11	4
電気機械	30	0	37	40	30	0
輸送用機械	▲ 22	▲ 5	▲ 5	▲ 29	▲ 11	14
その他製造	▲ 5	7	11	5	10	21
製 造 業　計	**▲ 4**	**▲ 2**	**5**	**▲ 9**	**0**	**15**
建設	3	11	2	21	19	21
不動産	0	34	20	34	34	17
卸売	18	18	27	12	25	16
小売	0	▲ 2	8	11	14	19
ｻｰﾋﾞｽ	7	9	17	15	17	14
非製造業　計	**7**	**9**	**13**	**16**	**19**	**18**
全 産 業　計	**2**	**5**	**9**	**5**	**9**	**17**

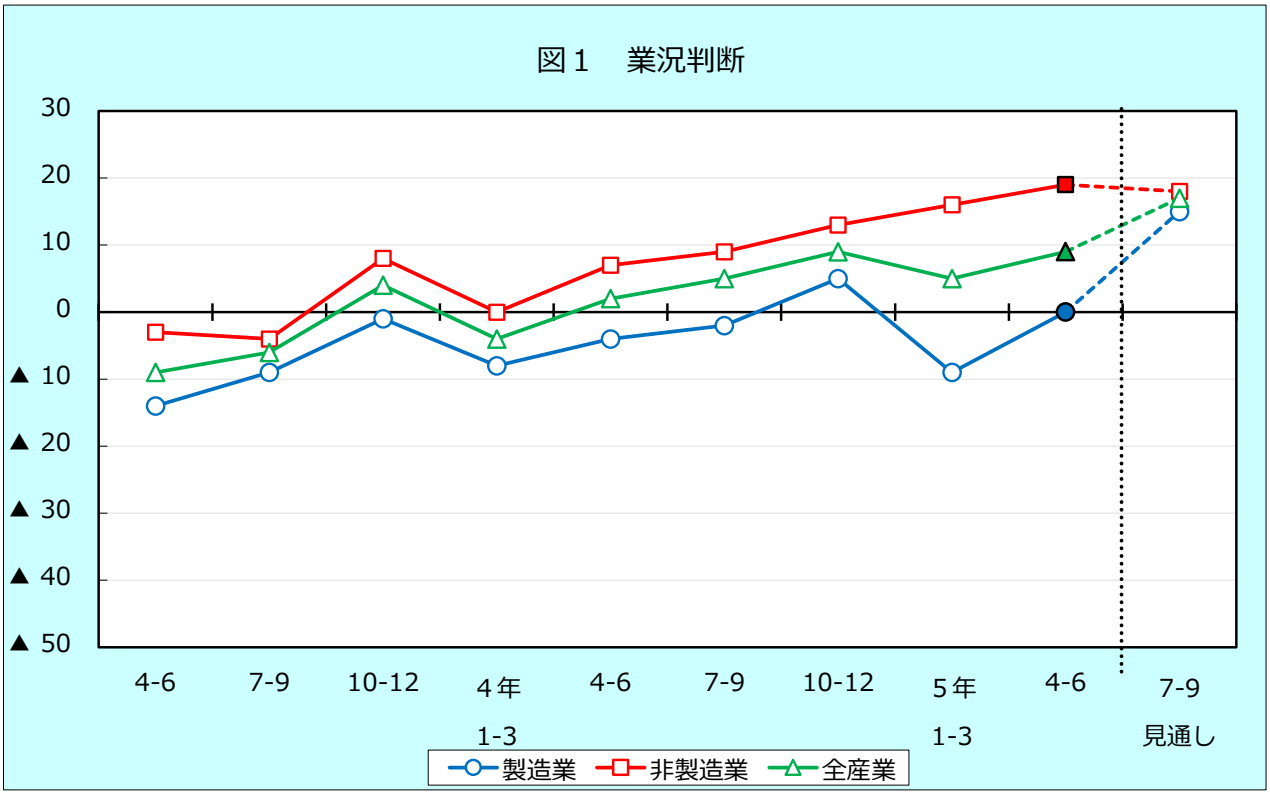


表２　業況判断

群馬県	4-6月 実績	7-9月 実績	10-12月 実績	5年 1-3月 実績	4-6月 実績	7-9月 見通し
食料品	9	▲ 9	8	▲ 22	27	40
金属製品	▲ 4	▲ 18	▲ 13	▲ 40	▲ 19	16
一般機械	0	17	▲ 7	▲ 20	7	28
電気機械	16	▲ 34	16	28	14	▲ 28
輸送用機械	▲ 12	▲ 4	5	▲ 38	▲ 9	22
その他製造	6	▲ 6	▲ 14	▲ 6	18	30
製 造 業　計	**1**	**▲ 5**	**2**	**▲ 20**	**3**	**22**
建設	▲ 16	0	▲ 14	10	13	19
卸売	5	11	18	10	25	13
小売	▲ 3	▲ 4	8	10	11	14
ｻｰﾋﾞｽ	10	9	26	15	18	18
非製造業　計	**▲ 3**	**5**	**8**	**13**	**15**	**17**
全 産 業　計	**▲ 1**	**0**	**5**	**▲ 4**	**9**	**19**

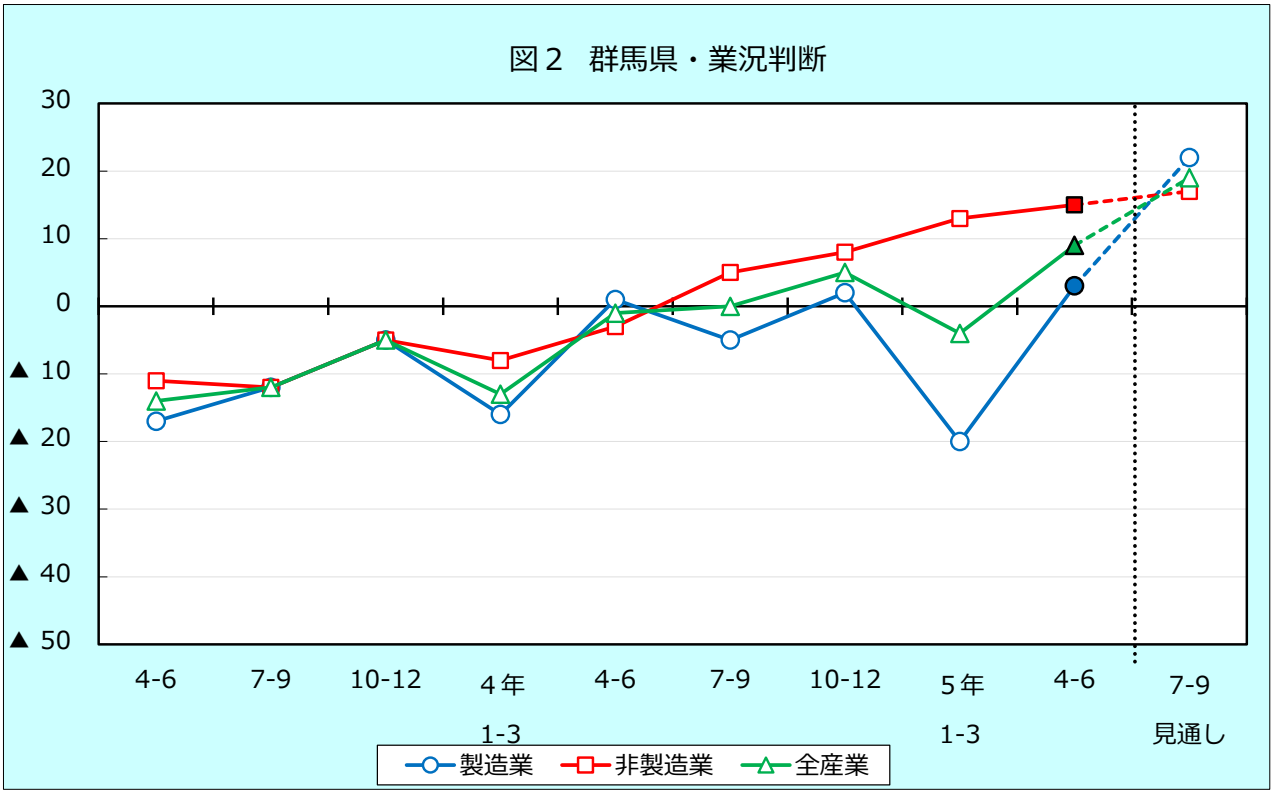


表３　業況判断

埼玉県	4-6月 実績	7-9月 実績	10-12月 実績	5年 1-3月 実績	4-6月 実績	7-9月 見通し
金属製品	▲ 8	0	0	▲ 10	▲ 14	7
一般機械	▲ 36	▲ 9	25	0	▲ 40	▲ 30
輸送用機械	▲ 42	▲ 12	▲ 18	▲ 28	▲ 22	0
その他製造	▲ 10	22	32	9	10	20
製 造 業　計	**▲ 9**	**6**	**12**	**3**	**▲ 7**	**8**
建設	26	26	12	31	21	21
卸売	30	27	50	11	24	24
小売	9	0	8	15	21	28
ｻｰﾋﾞｽ	9	8	5	17	17	8
非製造業　計	**20**	**17**	**17**	**21**	**21**	**20**
全 産 業　計	**6**	**11**	**15**	**12**	**8**	**13**

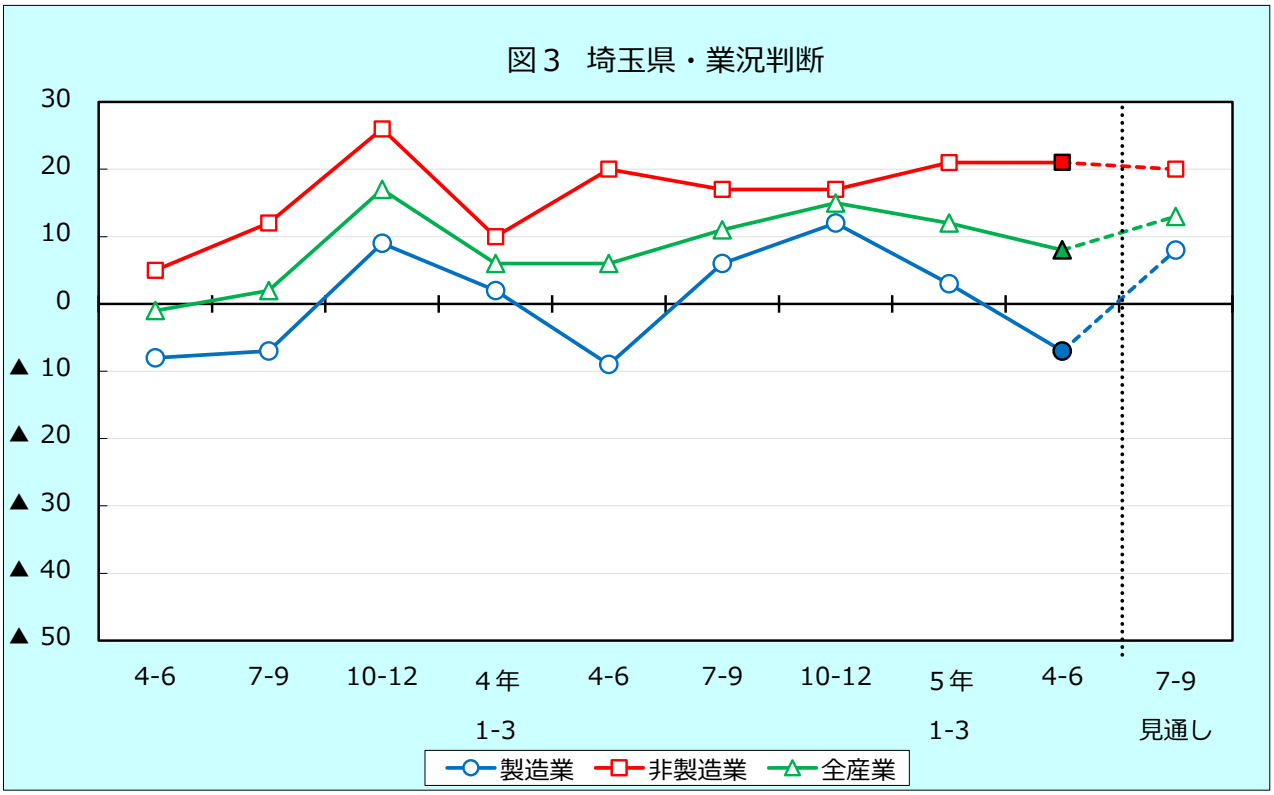
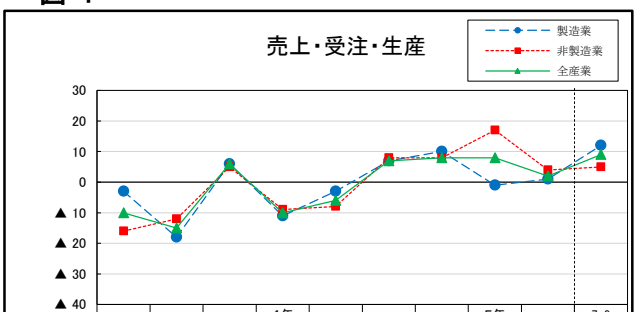
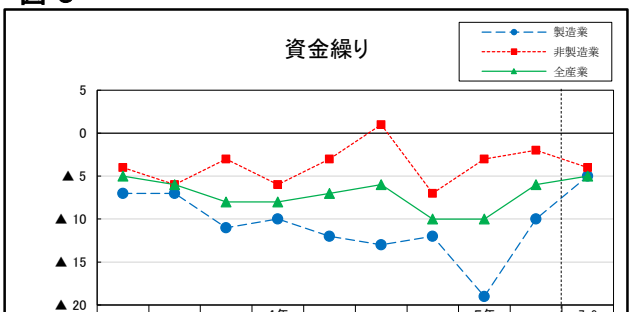


図 4



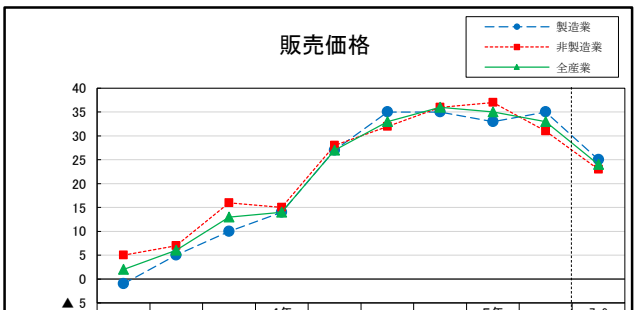
	4-6	7-9	10-12	4年 1-3	4-6	7-9	10-12	5年 1-3	4-6	7-9 見通し
製造業	▲ 3	▲ 18	6	▲ 11	▲ 3	7	10	▲ 1	1	12
非製造業	▲ 16	▲ 12	5	▲ 9	▲ 8	8	8	17	4	5
全産業	▲ 10	▲ 15	6	▲ 10	▲ 6	7	8	8	2	9

図 5



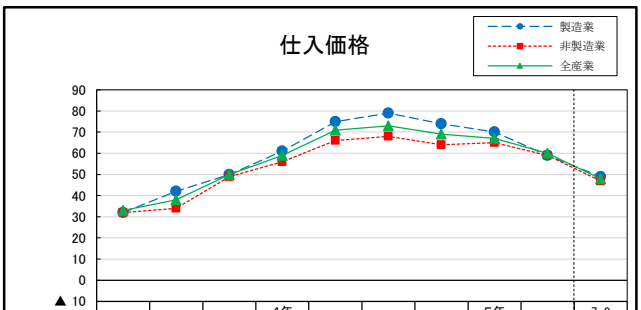
	4-6	7-9	10-12	4年 1-3	4-6	7-9	10-12	5年 1-3	4-6	7-9 見通し
製造業	▲ 7	▲ 7	▲ 11	▲ 10	▲ 12	▲ 13	▲ 12	▲ 19	▲ 10	▲ 5
非製造業	▲ 4	▲ 6	▲ 3	▲ 6	▲ 3	1	▲ 7	▲ 3	▲ 2	▲ 4
全産業	▲ 5	▲ 6	▲ 8	▲ 8	▲ 7	▲ 6	▲ 10	▲ 10	▲ 6	▲ 5

図 6



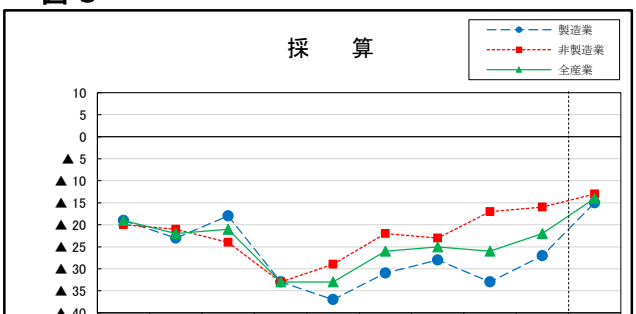
	4-6	7-9	10-12	4年 1-3	4-6	7-9	10-12	5年 1-3	4-6	7-9 見通し
製造業	▲ 1	5	10	14	27	35	35	33	35	25
非製造業	5	7	16	15	28	32	36	37	31	23
全産業	2	6	13	14	27	33	36	35	33	24

図 7



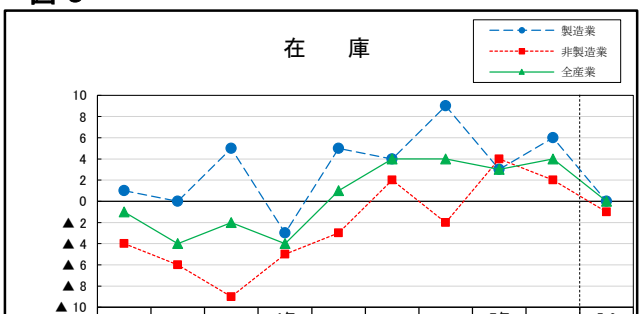
	4-6	7-9	10-12	4年 1-3	4-6	7-9	10-12	5年 1-3	4-6	7-9 見通し
製造業	32	42	50	61	75	79	74	70	59	49
非製造業	32	34	49	56	66	68	64	65	59	47
全産業	33	38	50	59	71	73	69	67	60	48

図 8



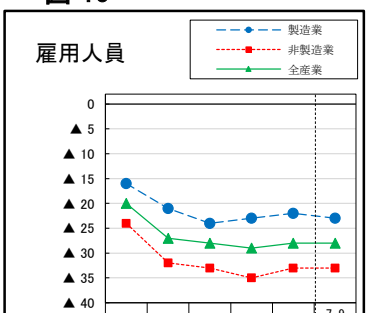
	4-6	7-9	10-12	4年 1-3	4-6	7-9	10-12	5年 1-3	4-6	7-9 見通し
製造業	▲ 19	▲ 23	▲ 18	▲ 33	▲ 37	▲ 31	▲ 28	▲ 33	▲ 27	▲ 15
非製造業	▲ 20	▲ 21	▲ 24	▲ 33	▲ 29	▲ 22	▲ 23	▲ 17	▲ 16	▲ 13
全産業	▲ 19	▲ 22	▲ 21	▲ 33	▲ 33	▲ 26	▲ 25	▲ 26	▲ 22	▲ 14

図 9



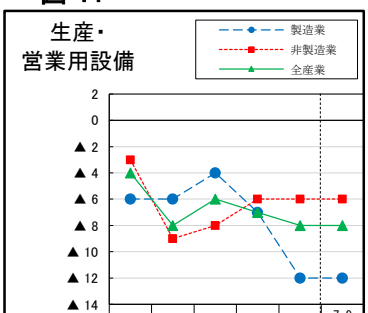
	4-6	7-9	10-12	4年 1-3	4-6	7-9	10-12	5年 1-3	4-6	7-9 見通し
製造業	1	0	5	▲ 3	5	4	9	3	6	0
非製造業	▲ 4	▲ 6	▲ 9	▲ 5	▲ 3	2	▲ 2	4	2	▲ 1
全産業	▲ 1	▲ 4	▲ 2	▲ 4	1	4	4	3	4	0

図 10



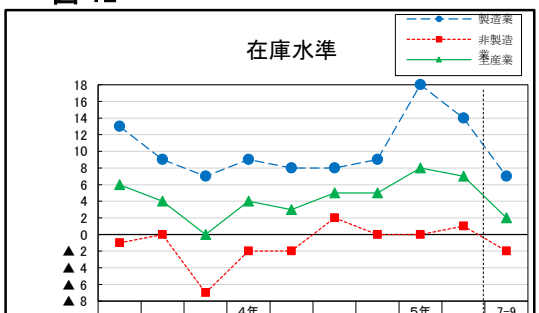
	4-6	7-9	10-12	5年 1-3	4-6	7-9 見通し
製造業	▲ 16	▲ 21	▲ 24	▲ 23	▲ 22	▲ 23
非製造業	▲ 24	▲ 32	▲ 33	▲ 35	▲ 33	▲ 33
全産業	▲ 20	▲ 27	▲ 28	▲ 29	▲ 28	▲ 28

図 11



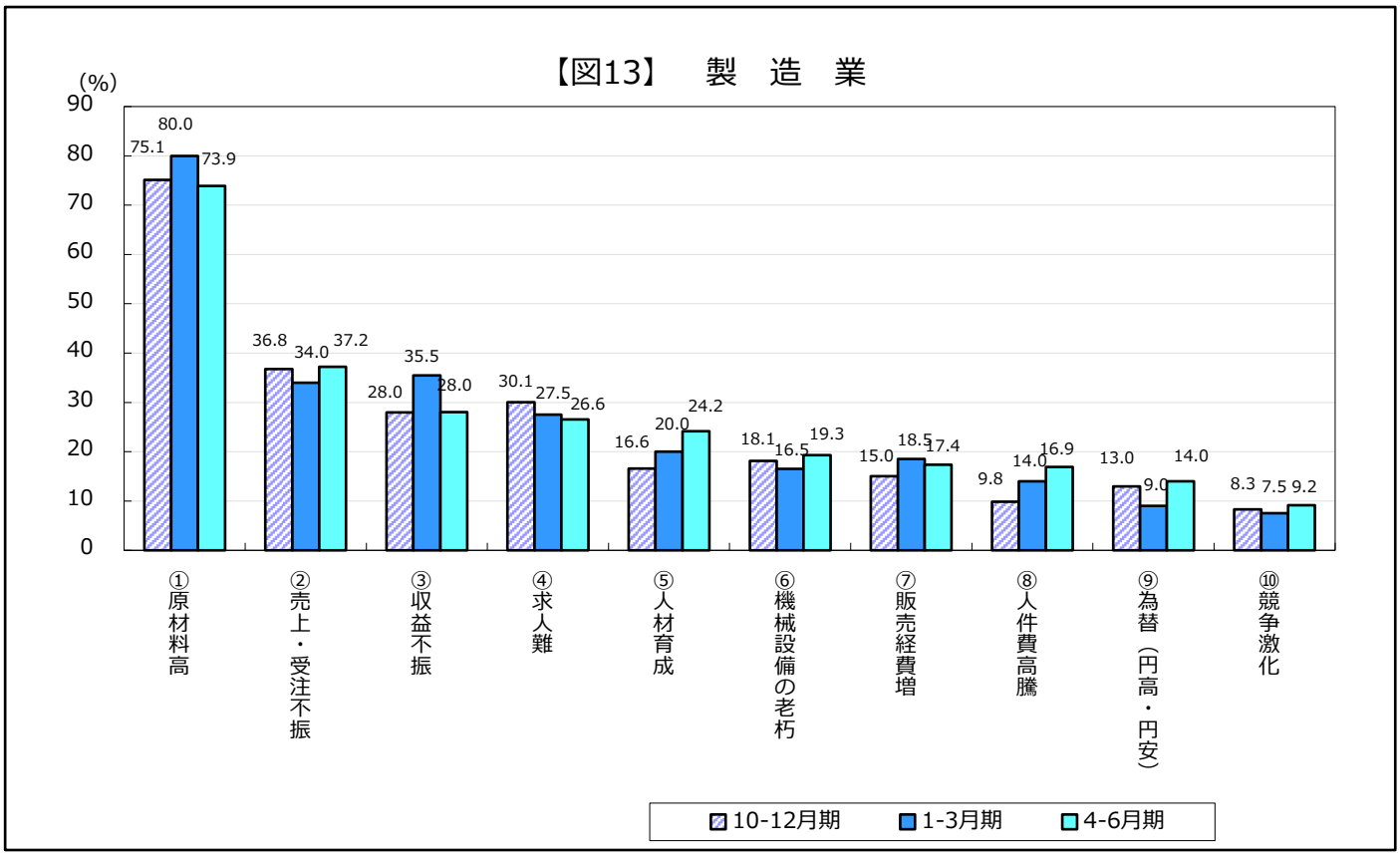
	4-6	7-9	10-12	5年 1-3	4-6	7-9 見通し
製造業	▲ 6	▲ 6	▲ 4	▲ 7	▲ 12	▲ 12
非製造業	▲ 3	▲ 9	▲ 8	▲ 6	▲ 6	▲ 6
全産業	▲ 4	▲ 8	▲ 6	▲ 7	▲ 8	▲ 8

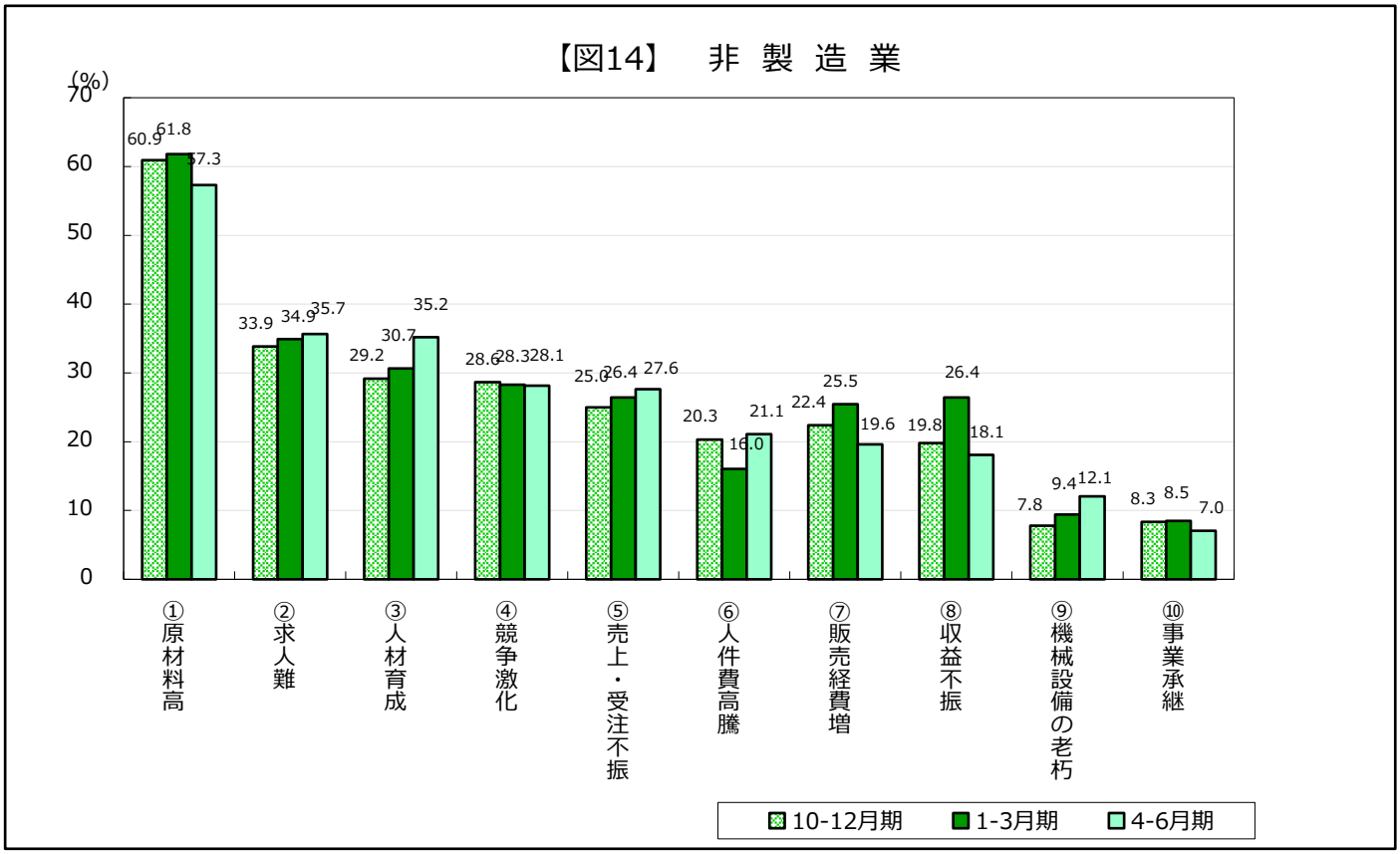
図 12



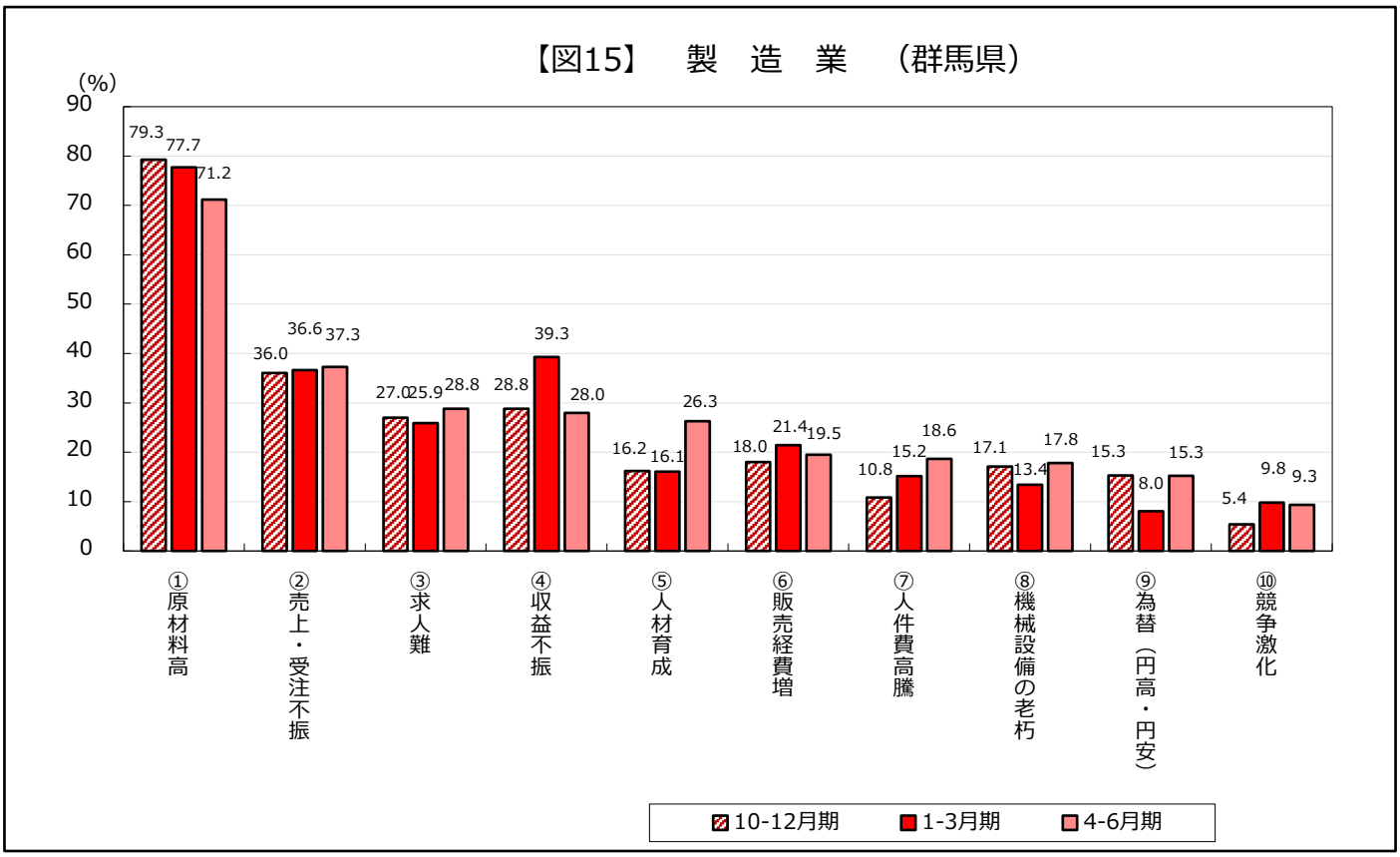
	4-6	7-9	10-12	4年 1-3	4-6	7-9	10-12	5年 1-3	4-6	7-9 見通し
製造業	13	9	7	9	8	8	9	18	14	7
非製造業	▲ 1	0	▲ 7	▲ 2	▲ 2	2	0	0	1	▲ 2
全産業	6	4	0	4	3	5	5	8	7	2

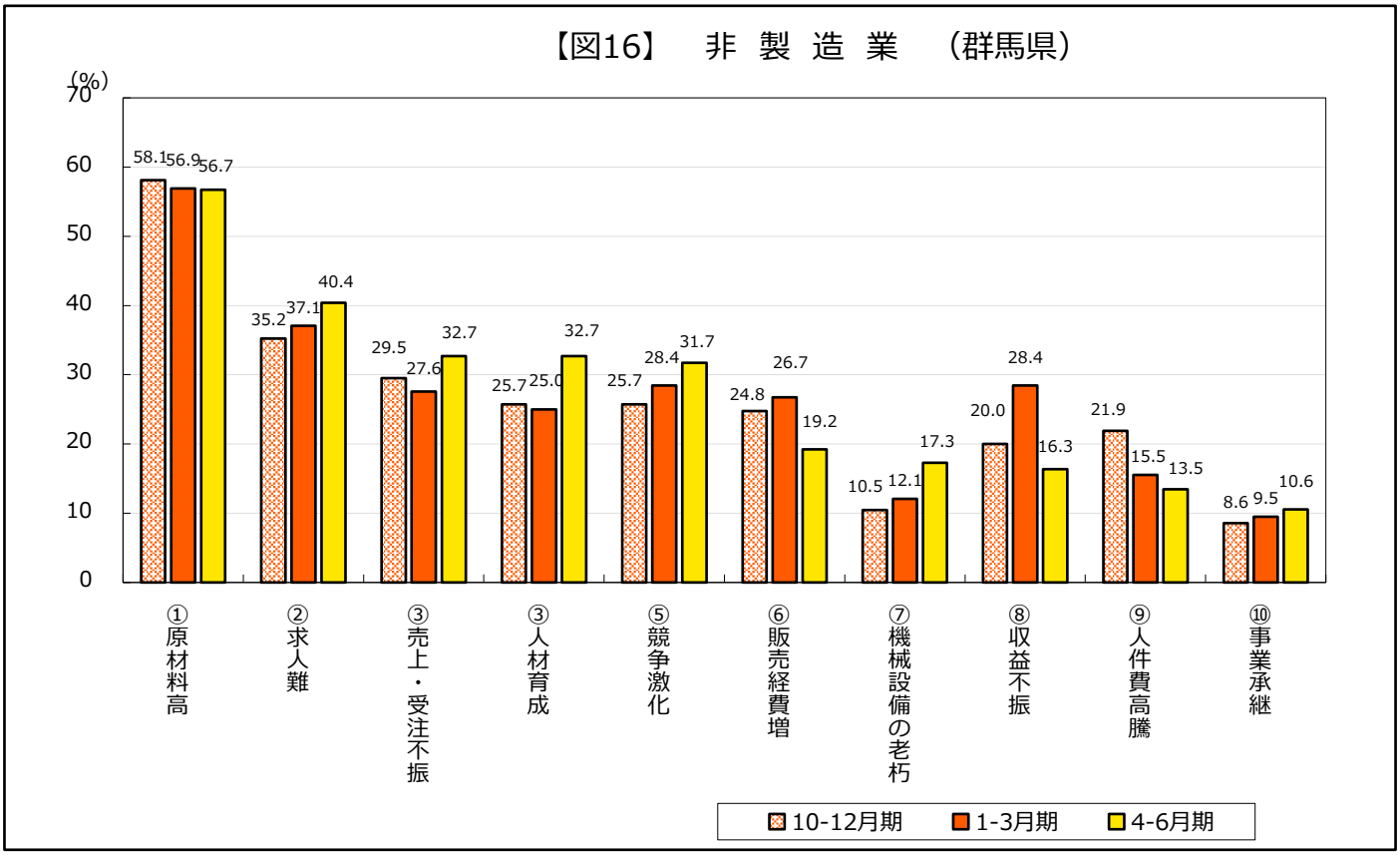
第193回企業経営動向調査　当面の経営上の課題



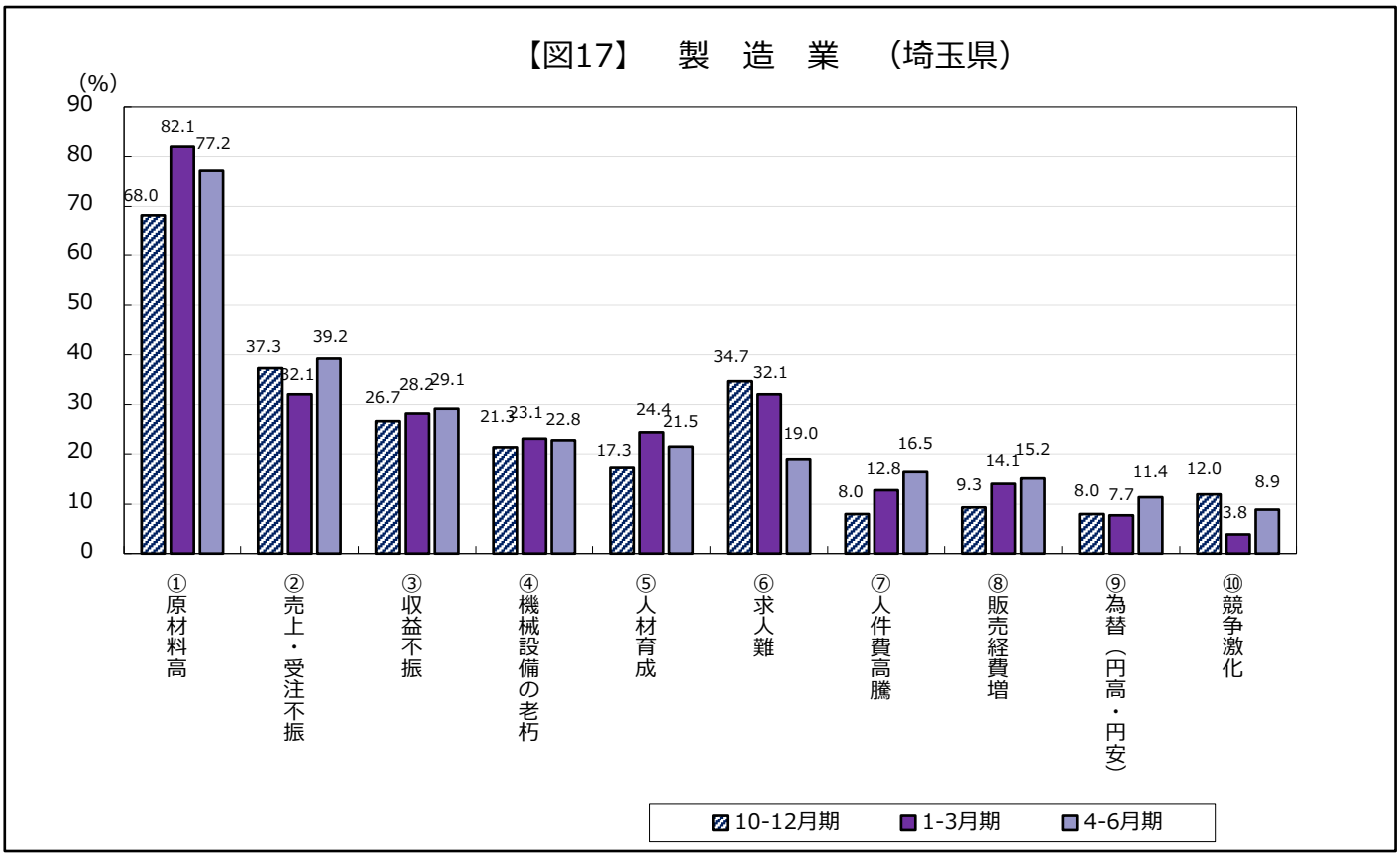


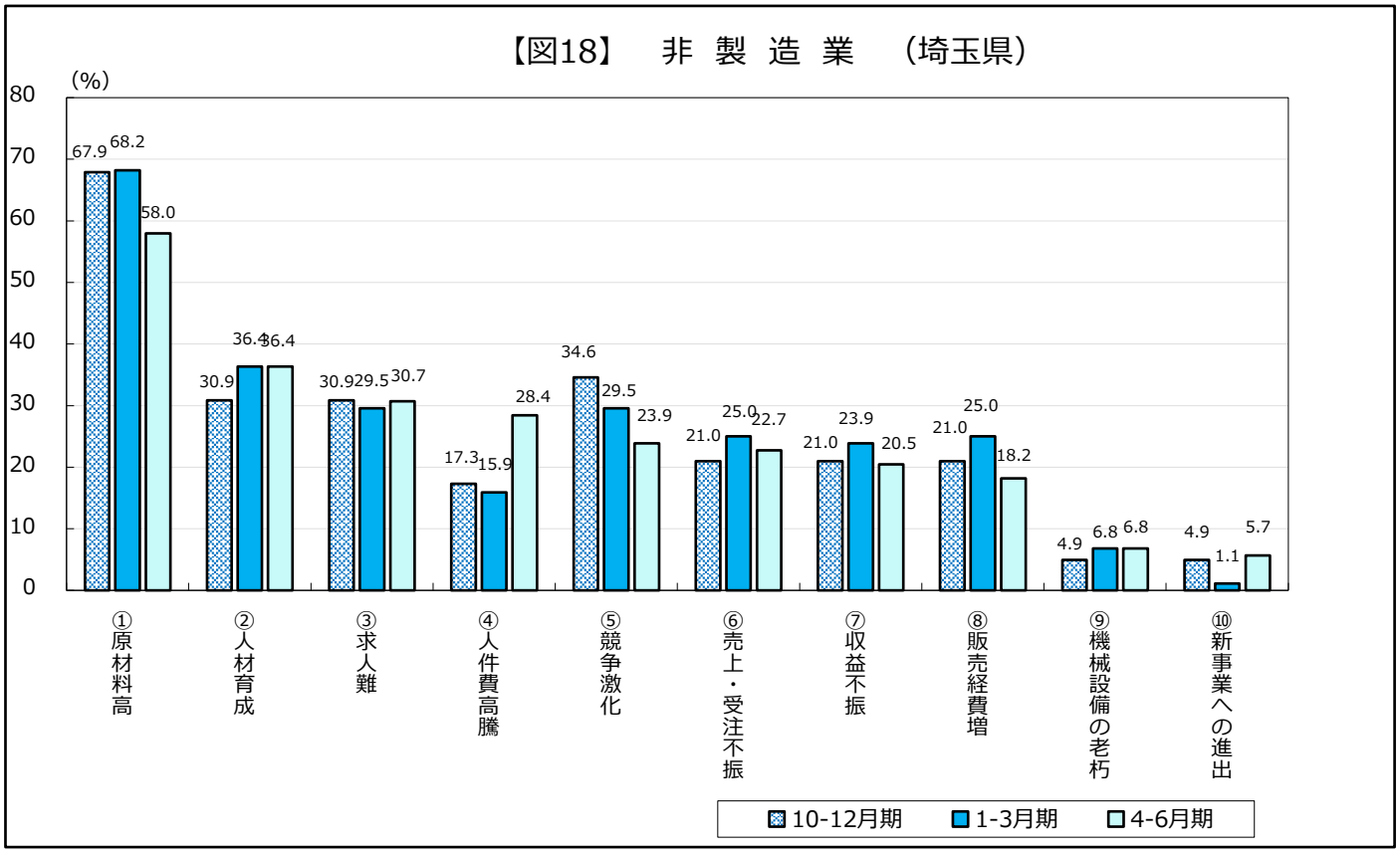
第193回企業経営動向調査　当面の経営上の課題（群馬県）





第193回企業経営動向調査　当面の経営上の課題（埼玉県）





【　付帯調査＿変化の激しい時代における中小企業の将来像　】

VUCA の時代と呼ばれるように、環境や技術、また安全保障など、変化の激しい時代になっている。こうした変化を乗り越えるための企業の考えや取組みを確認するため、当行取引先企業に「変化に対応するための自社の将来像」についてアンケート調査を実施した（回答企業数 406 社、うち製造業 207 社、非製造業 199 社、期間：５月下旬～６月中旬）。

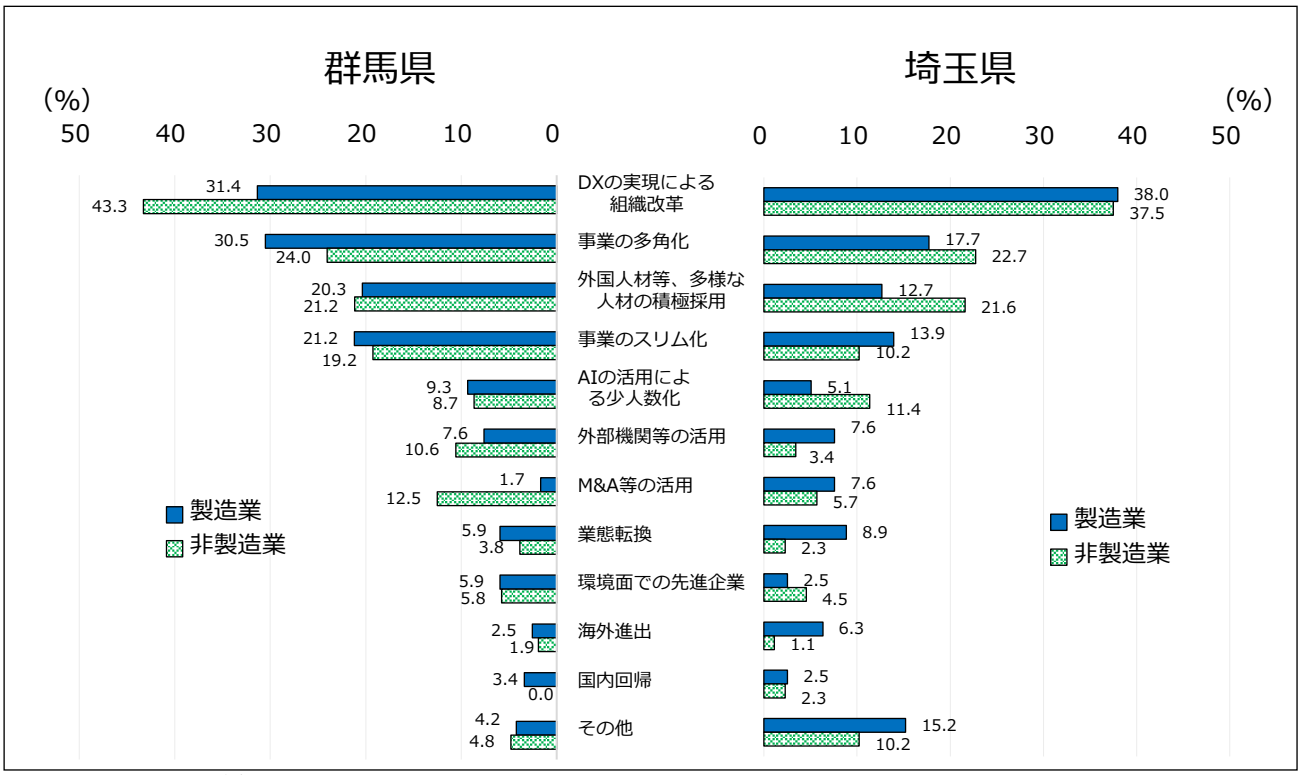
「DX の実現による組織改革」「事業の多角化」「事業のスリム化」など、組織の変革を見据えた回答が多くなっており、企業経営者がコロナ禍のような大きな災禍を経験し、時代の変化に合わせた抜本的な組織改革が必要と考えている状況が窺える。

一方で、足もとの課題としては経済活動再開による人手不足があり、最近の規制緩和に向けた動きを背景に「外国人材等、多様な人材の積極採用」の回答が３番目に多くなった。「AI 活用による少人数化」も１割程度の回答があった。

少数の回答の中でも最近の経済情勢を踏まえたものとしては、EV 化の進展が見込まれる自動車産業を中心に製造業の「業態転換」の回答の割合が相対的に高くなっていたり、海外製造コストの高まり、円安、地政学リスクなどを背景に「国内回帰」の回答もあった。

その他の単独の回答には「機械設備の増強」「製造技術向上」「働き方改革」「太陽光発電設備設置」「現状維持」などがあった。

地域別、業種別の内訳は、下記グラフを参照。



※全体での回答が多い順に記載